

はじめての方も安心のマンツーマン英会話。産経オンライン英会話【PR】

新聞購読のお申し込み

書籍・雑誌

2018.3.6 07:04

文字の大きさ

「あんしん電話」普及へ前進 松戸の高齢者安否確認、新システムに

ツイート

反応

シェア 16

G+

おすすめ記事を受け取る

松戸市内の高齢者世帯約700世帯が加入する自動電話による安否確認システム「あんしん電話」。運営する一般社団法人「あんしん地域見守りネット」（斎藤正史代表理事）は、サービス地域の拡大などを目的に、4月から一括サーバーによる新システムに順次切り替え、普及を目指す。

65歳以上の市民が無料で利用できるのは従来通りだが、新システムでは運用コストの大幅な削減が見込めるという。

これまでは医療機関や介護施設が地域の50世帯程度を受け持ち、それぞれ自動電話をかけるサーバーを設置したため50万円の初期導入費用に加えて、年間2万円のメンテナンス費や、1世帯当たり年間千数百円の電話代を負担していた。新システムでは15万円の初期費用のほかは不要になる。

医療機関などがシステムを導入しやすくなることで、市内西部などのサービスが行われていなかった地域への普及も見込んでいる。

あんしん電話は、同市常盤平の「どうたれ内科診療所」の堂垂伸治院長らが、患者との連絡用に10年ほど前に開発したものが発展した。週1回、希望の曜日・時間に加入者宅に電話がかかり「元気」なら1、「ちょっと心配」なら2、「連絡がほしい」なら3を押す。3や応答がなかった場合は連携する町会メンバーやボランティアが加入者宅を訪問する仕組み。

堂垂院長は「安否確認にとどまらず、高齢者とボランティアや地域の人をつなぐシステム」、斎藤代表理事は「システムをさらに充実させたい」と話している。

【問】フリーダイヤル0120・386・117。

広告



Replay